

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年10月15日
【四半期会計期間】	第26期第2四半期（自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日）
【会社名】	株式会社エスケイジャパン
【英訳名】	SK JAPAN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 八百 博徳
【本店の所在の場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 野崎 伸一
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 野崎 伸一
【縦覧に供する場所】	株式会社エスケイジャパン東京営業所 （東京都台東区寿三丁目14番13号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の東京営業所は、未登記につき法定の縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第25期 第2四半期 連結累計期間	第26期 第2四半期 連結累計期間	第25期
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 3月1日 至平成26年 8月31日	自平成25年 3月1日 至平成26年 2月28日
売上高 (千円)	3,279,751	3,820,254	7,020,993
経常損失 (千円)	116,195	116,207	165,558
四半期(当期)純損失 (千円)	114,251	14,048	178,845
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	114,910	10,888	179,202
純資産額 (千円)	1,864,088	1,702,567	1,740,449
総資産額 (千円)	3,666,637	3,942,848	3,464,310
1株当たり四半期(当期)純損失金額 (円)	13.89	1.71	21.74
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	49.9	42.7	49.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	104,693	64,556	213,958
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,290	82,936	48,748
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	749	24,723	222,559
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	574,354	765,563	642,454

回次	第25期 第2四半期 連結会計期間	第26期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 6月1日 至平成26年 8月31日
1株当たり四半期純損失金額 (円)	6.76	4.09

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失金額であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,820百万円（前年同期比16.5%増）、営業損失は115百万円（前年同期は121百万円の営業損失）、経常損失は116百万円（前年同期は116百万円の経常損失）となりませんが、当社の創業者であり前代表取締役社長であった久保敏志が平成26年5月20日に逝去したことに伴い、受取保険金等が特別利益に122百万円及び社葬費用等が特別損失に15百万円計上したことにより、四半期純損失は14百万円（前年同期は114百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

アミューズメント部門におきましては、これまでグループ各社の部門ごとに行っていた生産管理及びキャラクターの権利取得をグループで一元管理する体制に移行し、業務効率の向上及びキャラクター契約のスピードアップを進め、競合他社と差別化できる商品づくりを推進してまいりましたが、移行して6ヶ月しか経過しておらず、業績向上には十分な成果を上げておりません。商品面では、特に第1四半期好調であった「ted」や前期より引き続き好調な「おさるのジョージ」等が寄与し、売上高は1,839百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

S P（セールスプロモーション）部門におきましては、当期の取り組みでもある新規得意先獲得もある程度の成果はありましたが、前期好調であったムック本が鈍化したこと等により、売上高は369百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

利益面では、売上高の増加ならびに固定費の削減等を行いましたが、現状の商品の価値を厳密に評価し直した結果、過剰在庫商品の在庫評価損をさらに拡大したことにより、営業損失となりました。

以上の結果、売上高は2,209百万円（前年同期比15.4%増）、営業損失は126百万円（前年同期は130百万円の営業損失）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

当事業におきましては、ゲーム、コミック及びアニメなどで展開されたキャラクターが大ブームとなり、多くの得意先の店頭へ導入できたことに加え、映画のヒットの影響によりアニメキャラクターのグッズの売上も大きく伸びました。また、店頭イベントが好調なゆるキャラも引き続き好調に推移しました。

以上の結果、売上高は1,610百万円（前年同期比18.0%増）、営業損失は13百万円（前年同期は14百万円の営業損失）となりました。

(2)財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて478百万円増加し、3,942百万円となりました。これは主に、保険積立金の減少額（投資その他の資産「その他」）189百万円により一部相殺されたものの、現金及び預金の増加額123百万円、受取手形及び売掛金の増加額386百万円、電子記録債権の増加額42百万円及び商品の増加額90百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて516百万円増加し、2,240百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額454百万円及び未払金の増加額35百万円（流動負債「その他」）によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて37百万円減少し、1,702百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少額38百万円によるものであります。

(3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて123百万円増加し、765百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、64百万円（前年同期は104百万円の使用）となりました。

これは主に、売上債権の増加額428百万円、受取保険金114百万円及びたな卸資産の増加額90百万円があったこと等により一部相殺されたものの、仕入債務の増加額453百万円、減価償却費32百万円（営業活動のキャッシュ・フロー「その他」）及び保険金の受取額200百万円があったこと等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、82百万円（前年同期は3百万円の使用）となりました。

これは主に、無形固定資産の取得による支出18百万円があったことにより相殺されたものの、保険積立金の払戻による収入17百万円及び保険積立金の解約による収入90百万円があったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、24百万円（前年同期は0百万円の獲得）となりました。

これは主に、配当金の支払額24百万円があったこと等を反映したものであります。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,381,000
計	12,381,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年10月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,363,103	8,363,103	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	8,363,103	8,363,103	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年6月1日 ~ 平成26年8月31日	-	8,363,103	-	441,550	-	472,489

(6) 【大株主の状況】

平成26年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
久保 敏志	大阪市中央区	3,723,636	44.52
鈴木 康友	東京都墨田区	231,800	2.77
エスケイジャパン従業員持株会	大阪市中央区上町1-4-8	144,454	1.72
八百 博徳	大阪市中央区	142,743	1.70
株式会社エスケイジャパン	大阪市中央区上町1-4-8	134,087	1.60
株式会社巽商店	大阪府寝屋川市東香里園町21-21	122,400	1.46
中村 英記	東京都台東区	82,221	0.98
ビーエヌピー パリバ セキュリ ティーズ サービス パリス ジャス デック ノー トリーティ (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	3 RUE D'ANTIN 75002 PARIS (東京都中央区日本橋3-11-1)	81,607	0.97
久保 三則	長崎県五島市	76,340	0.91
高橋 恒夫	京都府木津川市	70,000	0.83
計	-	4,809,288	57.50

(注) 久保 敏志氏は、平成26年5月20日に逝去されましたが、平成26年8月31日現在名義書換が完了していないため、株主名簿上の名義で記載しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 134,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,185,400	81,854	-
単元未満株式	普通株式 43,703	-	-
発行済株式総数	8,363,103	-	-
総株主の議決権	-	81,854	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が900株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数9個が含まれております。

【自己株式等】

平成26年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社エスケイジャパン	大阪市中央区上町一丁目4番8号	134,000	-	134,000	1.60
計	-	134,000	-	134,000	1.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	642,454	765,563
受取手形及び売掛金	898,332	1,284,943
電子記録債権	96,658	139,006
商品	374,734	465,604
繰延税金資産	3,922	9,588
その他	85,156	104,113
貸倒引当金	4,481	8,485
流動資産合計	2,096,777	2,760,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	516,195	516,195
減価償却累計額	177,906	185,194
建物及び構築物(純額)	338,288	331,000
車両運搬具	11,858	8,467
減価償却累計額	10,401	7,515
車両運搬具(純額)	1,457	951
その他	102,607	113,496
減価償却累計額	79,799	89,101
その他(純額)	22,808	24,394
土地	539,494	539,494
有形固定資産合計	902,048	895,841
無形固定資産		
116,513	116,513	116,933
投資その他の資産		
投資有価証券	59,779	60,118
繰延税金資産	1,446	1,088
その他	295,655	122,695
貸倒引当金	7,910	14,161
投資その他の資産合計	348,971	169,740
固定資産合計	1,367,533	1,182,514
資産合計	3,464,310	3,942,848

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	483,667	937,887
短期借入金	920,000	920,000
未払法人税等	1,206	9,334
繰延税金負債	511	-
賞与引当金	30,169	16,667
その他	136,033	211,289
流動負債合計	1,571,589	2,095,178
固定負債		
繰延税金負債	7,657	10,444
役員退職慰労引当金	144,396	134,440
長期預り保証金	218	218
固定負債合計	152,271	145,102
負債合計	1,723,861	2,240,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,550	441,550
資本剰余金	472,489	472,489
利益剰余金	846,447	807,711
自己株式	51,244	51,265
株主資本合計	1,709,243	1,670,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,312	14,802
繰延ヘッジ損益	2,827	-
為替換算調整勘定	1,974	2,131
その他の包括利益累計額合計	9,510	12,671
新株予約権	21,694	19,409
純資産合計	1,740,449	1,702,567
負債純資産合計	3,464,310	3,942,848

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	3,279,751	3,820,254
売上原価	2,457,537	2,994,549
売上総利益	822,213	825,704
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	355,093	322,414
賞与引当金繰入額	33,539	16,667
退職給付費用	11,461	12,397
役員退職慰労引当金繰入額	3,590	27,278
貸倒引当金繰入額	891	10,486
その他	539,595	552,006
販売費及び一般管理費合計	944,170	941,250
営業損失()	121,956	115,545
営業外収益		
受取利息	57	62
受取配当金	754	632
受取家賃	2,701	2,719
為替差益	1,293	-
賃貸収入	1,015	3,425
その他	2,582	3,538
営業外収益合計	8,402	10,378
営業外費用		
支払利息	2,508	3,791
為替差損	-	1,897
賃貸原価	-	3,611
その他	132	1,740
営業外費用合計	2,641	11,040
経常損失()	116,195	116,207
特別利益		
固定資産売却益	-	981
新株予約権戻入益	772	2,462
受取保険金	-	1,114,853
保険戻戻金	-	3,743
特別利益合計	772	122,040
特別損失		
固定資産除却損	-	3,546
社葬費用	-	2,115,597
特別損失合計	-	15,144
税金等調整前四半期純損失()	115,423	9,311
法人税、住民税及び事業税	1,194	7,126
法人税等調整額	2,365	2,389
法人税等合計	1,171	4,736
少数株主損益調整前四半期純損失()	114,251	14,048
四半期純損失()	114,251	14,048

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	114,251	14,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	655	489
繰延ヘッジ損益	106	2,827
為替換算調整勘定	103	156
その他の包括利益合計	658	3,160
四半期包括利益	114,910	10,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,910	10,888
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	115,423	9,311
賞与引当金の増減額(は減少)	602	13,502
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,590	9,955
貸倒引当金の増減額(は減少)	448	10,255
受取利息及び受取配当金	811	694
支払利息	2,508	3,791
固定資産売却損益(は益)	-	981
受取保険金	-	114,853
保険返戻金	-	3,743
固定資産除却損	-	3,546
売上債権の増減額(は増加)	227,201	428,948
たな卸資産の増減額(は増加)	24,184	90,844
仕入債務の増減額(は減少)	219,463	453,562
その他	48,792	52,179
小計	93,420	149,500
利息及び配当金の受取額	833	712
利息の支払額	2,535	3,798
保険金の受取額	-	200,000
法人税等の支払額	32,429	2,094
法人税等の還付額	22,858	19,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,693	64,556
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	-	1,074
有形固定資産の取得による支出	21,540	5,441
無形固定資産の取得による支出	13,720	18,963
貸付金の回収による収入	33,693	-
保険積立金の払戻による収入	-	17,558
保険積立金の解約による収入	-	90,314
その他	1,722	1,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,290	82,936
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	50,000	-
自己株式の取得による支出	16	20
配当金の支払額	49,233	24,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	749	24,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	360	337
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	107,594	123,108
現金及び現金同等物の期首残高	694,987	642,454
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	13,039	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	574,354	765,563

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社及び連結子会社(株)サンエス)においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
当座貸越極度額	1,950,000千円	1,950,000千円
借入実行残高	920,000	920,000
差引額	1,030,000	1,030,000

(四半期連結損益計算書関係)

1 受取保険金

前第2四半期連結会計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

前代表取締役社長 久保敏志氏の逝去に伴い、生命保険会社より受け取った保険金であります。

2 社葬費用

前第2四半期連結会計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

前代表取締役社長 久保敏志氏の逝去に伴う、社葬に関する費用であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
現金及び預金勘定	574,354千円	765,563千円
現金及び現金同等物	574,354	765,563

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月18日 定時株主総会	普通株式	49,351	6.0	平成25年2月28日	平成25年5月20日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月11日 取締役会	普通株式	49,351	6.0	平成25年8月31日	平成25年11月15日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月24日 定時株主総会	普通株式	24,687	3.0	平成26年2月28日	平成26年5月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年10月14日 取締役会	普通株式	20,572	2.5	平成26年8月31日	平成26年11月14日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,914,599	1,365,152	3,279,751	-	3,279,751
セグメント間の 内部売上高又は振替高	72,870	50,748	123,619	(123,619)	-
計	1,987,469	1,415,901	3,403,371	(123,619)	3,279,751
セグメント損失()	130,006	14,159	144,166	22,209	121,956

(注)1. セグメント損失の調整額22,209千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,209,713	1,610,540	3,820,254	-	3,820,254
セグメント間の 内部売上高又は振替高	59,622	31,969	91,592	(91,592)	-
計	2,269,336	1,642,510	3,911,846	(91,592)	3,820,254
セグメント損失()	126,168	13,959	140,128	24,582	115,545

(注)1. セグメント損失の調整額24,582千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(金融商品関係)

前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(有価証券関係)

前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
1株当たり四半期純損失金額	13円89銭	1円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	114,251	14,048
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	114,251	14,048
普通株式の期中平均株式数(株)	8,225,187	8,229,038

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成26年10月14日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・20,572千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・2円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成26年11月14日

(注) 平成26年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月14日

株式会社エスケイジャパン

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 紳太郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秦 一二三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスケイジャパンの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスケイジャパン及び連結子会社の平成26年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。